



地域と結ぶ

順天堂大学練馬病院ニュース



地域の皆さまの
心と身体のオアシスで
ありたいと願っています。
何なりと
ご相談ください。

各記事にあるQRコードを読み込むことで、
各診療科および各部署のHPを開くことができます。
ぜひ、ご活用ください。



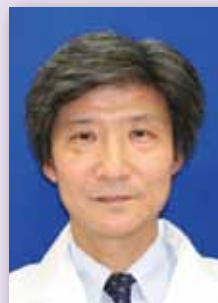
新任副院長のあいさつ

今年4月から副院長に就任しました循環器内科の住吉です。

練馬区は東京23区の中で最も新しく誕生した区ですが、今や人口は72万人を超え、世田谷区に次いで第2位です。

順天堂練馬病院は練馬区を中心とした

周辺地域の中核病院として、地域の皆さまに日々の診療のみならず、高度先進医療や適切な救急医療を提供してまいりました。しかしながら、病床数が現状の400床では地域のニーズに応えられない状況です。そのため3年後の90床増床に向けて着々と準備を進めております。順天堂はその理念として「仁」を掲げております。私も練馬病院のスタッフと共に、一人ひとりの患者さんに満足していただける心のこもった医療を提供できるよう、児島院長をサポートして日々努力していく所存です。これからもご支援を宜しくお願い申し上げます。



循環器内科
教授 住吉正孝



練馬病院 HP
【循環器内科】

新任院長補佐のあいさつ

みなさんこんにちは、平成30年4月より院長補佐を務めます 尾崎 裕(おざきゆたか)と申します。夭折した音楽家と同じ読み名です。専門は画像診断で、院内では医療連携を担当してきました。



放射線科
教授 尾崎 裕

これまでの55年間で、私自身さまざまな病気にかかり家族の療養も経験して参りました。壮年となった今「健康が一番」とつくづく思っています。でも病気や怪我は突然やってきます。今や4割以上の人が一生に一度は「がん」になる時代です。3種類の「がん」になる方も珍しくありません。私が医師になった30年前は多くの方が初めのがんに勝てず亡くなっていましたから医学の進歩の素晴らしさを感じています。しかし一方で芳しくない経過を辿ることが多いのも病気の現実です。そのため医療サービスでは気持ちのサポートが重要と考えています。

私自身、自分の技量を高めるだけでなく患者さんの身になって考えるよう教育されてきました。当院でも全ての職員が患者さんに優しい気遣い出来るよう指導して参ります。それが院長の提唱する「patient first」と考えています。お気づきの点がございましたらどうぞ遠慮なくご指摘ください。宜しく申し上げます。



練馬病院 HP
【放射線科】

新任科長紹介

4月より総合外科の科長に就任いたしました、須郷広之と申します。

総合外科では、腹腔鏡下手術を多く取り入れ「合併症の少ない手術」、「短い入院期間」をモットーに“がん”を中心とした様々な疾患に幅広く対応しております。最近、大病院では診療科の細分化が進み、「一人の患者さん」でありながら“大腸癌は大腸外科、肝臓に転移したら肝臓外科、抗がん剤は内科”といった診療が多くみられます。これには良い点もありますが「縦割り診療」になりがちです。当科では手術はもちろん、手術後の抗がん剤治療や、放射線治療、リハビリなどが必要な場合でも、専門医や専門看護師と連携しながら当科の中でスムーズに次の治療へ移行可能です。当科では専門とする「疾患」だけを診るのではなく、トータルとして「一人の患者さん」を診る診療を心がけています。

お困りの際には、どうぞ気兼ねなくご相談ください。



総合外科
准教授 須郷広之

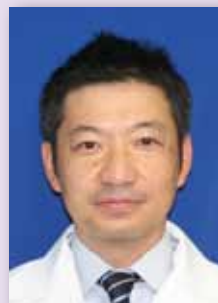


練馬病院 HP
【総合外科】

新任科長紹介

4月より、消化器内科の科長に就任いたしました川邊正人と申します。

消化器内科と言えば、お腹を専門にみる診療科です。食べ物の通り道である食道、胃、小腸、大腸などの消化管のほか、途中消化を助ける働きを持つ肝臓、膵臓、胆のうといった多彩な臓器の病気に対して、検査、診断、治療を行っています。消化管出血、胆石胆のう炎、急性膵炎などの緊急例、肝炎、胃炎、炎症性腸疾患、便秘などの慢性疾患、ポリープやがんなどの腫瘍に対する内視鏡治療や薬物治療(化学療法)といった様々な疾患の診療に専門医を中心としたチーム医療で取り組んでいます。これからも患者さんのみならずご家族の方々にも、そして地域の先生方からも信頼される消化器内科を目指し努力してまいります。心配事があれば、どうぞお気軽にご相談ください。



消化器内科
准教授 川邊正人



練馬病院 HP
【消化器内科】

専門・認定看護師の紹介 (慢性疾患専門看護師、糖尿病看護認定看護)

看護師 佐久間暁美

現在、成人の約4人に1人が糖尿病または糖尿病が疑われると言われています。糖尿病は生活習慣による影響が大きく、生涯にわたって付き合いしていく必要があります。当院では、糖尿病を専門とする慢性疾患専門看護師2名と糖尿病看護認定看護師2名が、患者さんがその人らしく糖尿病と上手に付き合いながら生活していけるよう、また予防という観点からも患者さんとご家族の力になれるよう活動しています。

今回、3/12～3/16に「糖尿病予防・改善週間 in 順天堂練馬～春から始める初めの一步～」と題したキャンペーンを開催しました。糖尿病を知ること、ご自分やご家族の身体や生活習慣を振り返るきっかけになればという願いから、ポスター展示やパンフレット配布、血糖測定などを行いました。たくさんの患者さんとお話することで、私たちも多くの学びを得る貴重な機会をいただきました。生活習慣を変えると聞くと面倒に感じるかもしれませんが、しかし、体重計に1日1回乗る、おやつのチョコレートを1個減らす等、ひとつずつの積み重ねが健康維持につながります。何か一つでもはじめてみようと思ったこの瞬間がチャンスです。私たちと一緒に、はじめの一步を踏み出してみませんか？



練馬病院 HP
【看護部】

アジア感染症対策海外派遣研修に参加して

救急・集中治療科 加藤理紗

平成 29 年度アジア感染症対策海外派遣研修に参加し、タイのマヒドン大学で2週間、熱帯感染症の勉強をしてきました。

熱帯感染症とは、デング熱やマラリアなど熱帯に生息する蚊や動物の媒介する感染症です。マヒドン大学で、これらの感染症について勉強し、対策について学びました。日本とは違う視点で勉強し新しい知識を得ることができたこと、タイの気候や文化に合わせて問題となっている感染症に対して適した解決策を考え、実践していく姿勢を見ることができたことは、得難い経験であったと思います。

日本の気候は熱帯には属していませんが、地球温暖化の影響で蚊をはじめとした熱帯に生息する昆虫の活動期間が日本でも長くなっていることや、飛行機などの交通機関の発達で日本と海外の距離が近くなり、旅行者が増えたことで、熱帯感染症は決して縁遠い疾患ではなくなっています。これからの暑くなる季節、蚊など熱帯感染症を媒介する動物の活動性も高まります。海外旅行後のみならず、原因のわからない発熱や皮疹など困った症状がありましたらご相談ください。



加藤理紗



練馬病院 HP
【救急・集中治療科】



「ツツジ」は練馬区の花です。教職員一同、
「みどりの風吹くまち」のオアシスでありたいと常に思っています。

「かかりつけ医」の紹介状をぜひお持ちください

当院の初診には、原則としてお近くの医療機関からの紹介状が必要です。
紹介状をお持ちでない方には、初診時選定療養費 5,400 円をいただいております。

また、紹介状をお持ちの方を優先して診察させていただきますので是非電話予約の上、ご来院ください。

★選定療養費とは？

病院と診療所との機能分担を図るために、国が定めた制度です。200 床以上の病院は、紹介状をお持ちでない方から、初診料のほかに各病院が定めた金額を徴収する制度です。

(地域医療連携室 矢部雅英)

